

平成30年 第2回定例会

一 般 質 問

[個 人 質 問]

印 西 市 議 会

順 番	議員番号	議 員 名	質問方式
1	15番	小 川 義 人	一問一答
2	19番	山 田 喜代子	登壇一問一答
3	7番	浅 沼 美弥子	一問一答
4	13番	松 尾 榮 子	一問一答
5	6番	櫻 井 正 夫	一問一答
6	10番	近 藤 瑞 枝	一問一答
7	3番	小 川 利 彦	登壇一問一答
8	14番	山 本 清	登壇一問一答
9	12番	増 田 葉 子	一問一答
10	11番	橋 本 和 治	一問一答
11	18番	板 橋 睦	登壇一問一答
12	1番	伊 藤 真 一	登壇一問一答
13	4番	玉 木 実	一問一答
14	16番	軍 司 俊 紀	登壇一問一答
15	8番	岩 崎 成 子	一問一答
16	2番	稲 葉 健	登壇一問一答
17	17番	金 丸 和 史	一問一答
18	9番	海老原 作 一	登壇一問一答

質 問 1

質問者 15番 小 川 義 人

- 1 AI、IoT時代の行政を創る人材育成について
 - (1) ITに強い人材育成について
 - (2) 職員定数・人員管理について

- 2 危機管理行政における国民保護計画について
 - (1) テロ等の攻撃が近傍で発生した場合、現制度における国と地方自治体の役割について
 - (2) 現制度の課題について
 - (3) 訓練による、検証の実施について
 - (4) 生活インフラを狙った攻撃への対応について
 - (5) Jアラートによる情報伝達について
 - ①警報発令後の市民の対応について
 - ②情報伝達機器の動作確認および維持管理について

- 3 こども110番の家について
 - (1) 設置個所の推移について
 - (2) 運用状況について
 - (3) 防犯学習ソフト「聞き書きマップ」の展開について

- 4 ノーマライゼーション社会の実現に向けて
 - (1) 市民スポーツ大会と障がい者スポーツ大会の合同開催について
 - (2) 印旛郡市への働きかけについて

質 問 2

質問者 19番 山 田 喜 代 子

- 1 子育て応援ファミリーサポートセンター
子育ての援助をしてほしい方（利用会員）と、子育ての援助を提供できる方（提供会員）が相互援助を行ない、地域で助けあう会員組織であるファミ

リーサポートセンターの課題を問う。

- (1) センターは充分機能しているのか
- (2) どのような課題があると認識しているか

2 平和事業について

非核平和都市宣言の市として、今年度の平和事業の予算額はお粗末極まりないと考える。これまで検討課題としてきた事業の進ちよく状況を伺う。

3 非常勤職員の労働環境の改善を

市民の暮らし、福祉向上の為に尽力される職員、特に非正規職員の労働条件の改善を求める。

健康福祉部では250名、教育部では177名が低賃金で働いている。大幅な賃金アップ、本人の希望による常勤職員としての採用を検討すべきと考える。市長の考えを問う。

4 市民要求のトップである公共交通の充実を

公共交通の充実に向けて検討を行っていると考えますが、検討の進ちよく状況と、今後の展望を伺う。

5 UR賃貸住宅空室問題について

空室を市営住宅として活用する考えはないか、市長の見解を伺う。

質 問 3

質問者 7番 浅 沼 美 弥 子

1 バリアフリー施策についてこれまでの状況を踏まえ今後の方向性を伺います。

- (1) 基本構想やマスタープラン等の策定によるバリアフリーの促進
- (2) 行政サービスにおけるバリアフリーの促進
- (3) バリアフリーに関する市民等からの苦情、要望

2 脳髄液減少症について理解は進み適切な対応がされているのか伺います。

- (1) 教育現場等の対応
- (2) 市民等への周知啓発

- 3 予防接種事業を拡充させる考えはないか伺います。
- (1) 病気により予防接種の効果が消滅してしまった場合の追加接種事業の創設
 - (2) 麻疹等新たな脅威への対応策
- 4 道路交通法改正に伴い、消防団で所有する車両総重量3.5トン以上の消防自動車の運転手確保策の取り組みを伺います。
- (1) 所有する消防自動車の状況
 - (2) 準中型免許取得にかかる公費負担制度の創設
 - (3) 消防自動車更新時の検討

質 問 4

質問者 13番 松 尾 榮 子

- 1 千葉ニュータウン事業関連課題について
平成30年度の完了を目標に急ピッチで進められている千葉ニュータウン事業用地の処分状況と動向について伺います。
- (1) 土地処分と未処分地の状況
 - (2) 企業進出、住宅開発等の新たな動向
 - (3) 残る課題と対応について
 - ①公共施設の引継ぎ
 - ②東京電機大学の状況について
 - (4) 事業者の動向について
- 2 賑わいのまちづくりについて
都心と成田空港の中間に位置し、抜群の立地に恵まれる印西市ですが、広域ではまだまだ知名度が低い状況です。昨年の市制20周年に続き、人口10万人突破と記念すべきできごとが続く今年こそ、市の魅力を広く発信し、住みたいまち、住み続けたいまちを実現していかなばなりません。そこで伺います。
- (1) シティ・プロモーション
 - (2) イルミネーション事業
 - (3) ふるさとまつり
 - (4) 木下街道膝栗毛

3 中央駅前サービス向上プロジェクトについて

千葉ニュータウン中央駅前のUR事業所について、市は30年度予算で購入の方針を明らかにしました。中央駅周辺は昭和59年の入居開始から34年を経過し、駅圏の市民人口は、今年4月末現在で、当初の印西町全体人口の約2倍近い36,590人となっており、さらに増加中です。それに対して駅圏の公共施設は入居初期に整備されたものが多く、老朽化対策と共に現在の人口に見合った規模・内容が必要になってきています。そこで同プロジェクトについて伺います。

- (1) 30年度の予定
- (2) 利用についての検討

4 市民が高齢になっても生き生きと暮らせるまちづくりについて

県内でも高齢化率の低い印西市においても、毎年着実に高齢化は進んでいます。高齢化に伴い、通院や銀行等の用事、買い物等の移動に足の便がなく不自由という声が数多く届いてきます。高齢者の事故防止に向けて、国は高齢者の運転免許証の返納を呼び掛けていますが、地下鉄やバスが縦横に走る都内などに比べ、当市では車がないとたちまち日常の生活にも不便を来すのが現実です。

こうした中で、市は今年度から福祉タクシーの拡充、乗合タクシーの実証運行等の施策を開始しました。そこで伺います。

- (1) 福祉タクシーについて
 - ①利用方法
 - ②周知について
- (2) 乗合タクシー実証運行について
 - ①実施内容
 - ②周知について
- (3) 運転免許返納について
 - ①運転免許自主返納の特典・優遇制度について
 - ②免許返納後の市民の移動手段に関するその他の取り組みについて

質 問 5

質問者 6番 櫻 井 正 夫

1 鳥獣駆除等について

- (1) 平成29年度の被害報告を伺います。
- (2) 平成29年度中に捕獲された頭数を伺います。
- (3) 平成29年度は、被害届がどの位あって捕獲されたのか伺います。
- (4) 平成29年度も住民が個々に電気柵を張られておりますが、その状況を伺います。
- (5) 平成29年度は、駆除業務委託予算があったのですが、平成30年度はどの程度見込まれているか伺います。
- (6) 囲いわなは2か所取り付けると聞いておりますが、伺います。
- (7) 色々情報を得て取り付けると思いますが、どの点を重点に考えているか伺います。
- (8) これから寒くなるまでイノシシの活動は活発になると思いますが、捕獲方法を模索されているか伺います。
- (9) スズメバチの駆除について、無料にすることは出来ないか伺います。

2 印西クリーンセンターに隣接している温水センターを利用される皆さんの駐車場の混雑状況について、市はどのように考えているか伺います。

3 他市町村を訪問すると、名物や特産物が出品された道の駅が建設されておりますが、印西市では道の駅の計画を検討しているか伺います。

4 スーパー・コンビニがあちらこちらで建設されておりますが、開発行為等の規制があるか伺います。

質 問 6

質問者 10番 近 藤 瑞 枝

1 保育園における使用済みオムツの処理について

平成29年第4回定例会において、保護者の負担軽減及び保育士の負担軽減

減のために使用済みオムツは保育園で処理することを求めた。これに対して、衛生面等を十分に考慮して実施に向けて検討するとの答弁であった。

- (1) 現在の状況について
- (2) 今後の予定について

2 小学校中学校におけるジェンダー平等教育について

平成30年4月に開校した柏市柏の葉中学校では、LGBTなどの性的少数者に配慮した「ジェンダーレス制服」が導入された。印西市では、ジェンダー平等教育についてどのように考えているかを伺う。

- (1) ジェンダー平等教育についての見解
- (2) 現在の状況について
- (3) 今後、考慮すべき点について
- (4) 中学校の制服について

3 生徒・児童用の机・椅子の購入について

平成27年度より開始した市内小学校中学校の机・椅子の入れ替え計画において、昨年度は入札にあたっての仕様が変更され、結果的に2種類の机・椅子が同じ学校内に配置されることとなった。

- (1) 2種類の机・椅子の相違点について
- (2) 納入された学校における意見の集約について
- (3) 今後の選定について

質 問 7

質問者 3番 小川利彦

1 地域審議会からの意見について

平成22年3月23日より本埜村及び印旛村を廃し、その区域を印西市に編入することに伴い、地域審議会が設置され、市町村の合併の特例等に関する法律に基づき設置されたものであり、当該地域の代表者からなる組織が市長からの諮問に対して答申することや、地域の諸問題について市長に意見を述べる事が出来ることとされておりますことから、市の考え方について伺います。

- (1) 各地域への市長からの諮問に対して答申はどうか。
- (2) その答申に対する市の対応はどうか。

- (3) 地域審議会からの建議に対する市の考え方はどうか。
- (4) 地域審議会の設置期間を平成31年度末としているが、その後は組織を廃止するのだろうか。
- (5) 印西市として地域審議会という組織に対する見解はどうか。

2 県道整備を見据えた市道整備について

現在、印西市内の要所において道路網の幹線となる県道整備が進められており、部分供用を含めその開通時期が公表されている路線などもあり、県道整備が進み開通することは大変喜ばしいこととは思いますが、交通の軸となる県道だけでは、沿線地域における交通の利便性を向上させるために十分とは言えないと考えます。

(1) 県道整備を見据えた市道整備について

- ① 県道の開通に合わせて、整備を予定している市道はあるのか。
- ② 県道の開通などに伴い、交通の流れが変わる可能性等に配慮した道路の整備計画を作っているのか。

(2) 地域幹線道路の進捗状況について

印西市第2次基本計画にある地域幹線道路の進捗状況について伺う。

- ① 市道00-031号線についてはどうか。
- ② 市道竜腹寺線についてはどうか。
- ③ 市が計画し、未着手の道路についてはどうか。

3 交通不便地域解消に関するバス運行について

交通不便地域に生活されている方々より意見を集約し、定例会での一般質問から乗合タクシーやふれあいバスの運行が見直しがなされ、利用される方々には大変喜ばしいことが見えてまいりました。

そこで、現在の進捗状況等について伺う。

- (1) ふれあいバスの運行状況はどうか。
- (2) 本埜第2小学校周辺地域巡回車運行はどうか。
- (3) 計画の巡回車をスクールバスとしての利用はどうか。
- (4) 計画の巡回車の実証運行実施期日についてはどうか。
- (5) 市内全域の交通弱者対策の考え方はどうか。

質 問 8

質問者 14番 山本 清

1 市立中学の過剰な部活動について

- (1) 3月19日付の国の「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」(以下、「部活動ガイドライン」という)について、教育長はどのように考えているか。
- (2) 各学校や各部が、独自の判断で部活動ガイドラインを守らない、という選択肢はあるのか。
- (3) 部活動ガイドラインに示されている活動時間の上限数値は、文化部にも準用されるか。
- (4) 市立中学校において、部活動ガイドラインは遵守されているか。
- (5) 部活動ガイドラインに「移行期間」はあるか。それとも即日実施か。
- (6) 顧問が「自主練習」名目で、今なお長時間の練習を強いている実態について、どのように考えるか。
- (7) 滝野中学校の部活で、ガイドラインに拘束されずに部活動の長時間練習をする、という趣旨の「同意書」なるものを顧問が部員に配布し、保護者から署名捺印を集めている、と聞くが、これは事実か。
- (8) そのような同意書は意味があるか。
- (9) 市立中学校で「反乱」が多発していることについて、責任をどのように感じているか。
- (10) 「ブラック部活」として社会問題になっている長時間部活の問題は、人権問題である、という認識はあるか。
- (11) 市立中学における国のガイドラインの上限を超える長時間練習の強制は、教員によるパワーハラスメントである、という認識はあるか。
- (12) 市立中学の生徒への、学校図書館からの図書の間貸出冊数は、1人あたり、何冊か。
- (13) 中学生の1人あたりの年間貸出冊数は、小学生と比較して、どのようになっているか。
- (14) 国の部活動ガイドラインが出て2カ月以上が経過しているにもかかわらず、公然と無視される事態が多発しているのは、教育長のリーダーシップに問題があるからではないのか。
- (15) 印西市の市長部局で、国が明文化しているガイドラインが公然と現場で無視される、ということはあるのか。

2 北総線高額運賃について

- (1) 北総鉄道と千葉ニュータウン鉄道の線路使用料協定は、3月末で10年に一度の改定時期を迎えたが、新しい線路使用料協定はどのような内容になっているか。
- (2) その内容を、市長はどのように評価しているか。
- (3) 市長は昨年度、線路使用料協定について、北総鉄道などに要求書を送付したが、新しい線路使用料協定には、市長の意見は反映されたか。それとも無視されたのか。
- (4) 新しい線路使用料の決定を受けて、市長は今後、どのように行動していくのか。

3 市立小学校の英語教育について

- (1) 2020年度からの英語の教科化に向けて、どのような準備が進んでいるか。
- (2) 英語を教える人材の確保は進んでいるか。
- (3) 印西市の小学校における英語教育の特色は何か。

質 問 9

質問者 12番 増 田 葉 子

1 草深原地区の開発と生活環境について

市街化調整区域の草深原地区は、驚くほどの勢いで宅地化が進んでいます。印西市都市マスタープランで掲げる同地区の土地利用方針では、自然環境と都市環境の調和をめざし、適正な土地利用を誘導するとしていますが、現在の状態を率直にどのように評価しているのでしょうか。

- (1) 草深原地区の現状をどのように考えているか。
- (2) 今後はどうしていくのか。
- (3) 環境白書では、師戸川の水質悪化の原因の一つとして、草深原地区の宅地化があげているが、どのような対策をとってきたのか。
- (4) 地区内の合併処理浄化槽等の現状を把握できているか。
- (5) 公益社団法人千葉県浄化槽検査センターでは、法定点検の遅延を表明しているが、法定点検の遅れている浄化槽は草深原地区にあるか。
- (6) 草深原地区内には、側溝までの勾配が小さい住宅や側溝の容量が小さいところも見受けられるが、ゲリラ豪雨等への対策はとられているか。

(7) 消防水利等、地区内の生活環境についてどのように考えているか。

2 災害時のトイレ問題について

大災害時のトイレ問題は、近年の大災害の経験から広く知られるようになり、なるべくトイレに行かなくて済むように水分摂取を控え、健康被害を引き起こした事例なども報告されています。

平成27年第3回定例会で、防災トイレの状況について「組み立て式簡易トイレ134台、マンホールトイレ37台の計171台、一日あたり1万7,100人分を備蓄しているが、必要数には達していない状況」と答弁されています。その後、備蓄は進んでいるでしょうか。現状を伺います。

- (1) 現在の備蓄状況はどうなっているのか。
- (2) 下水道が使用できない場合、備蓄数はどうなるか。
- (3) 備蓄方針はもっているのか。
- (4) バイオトイレを検討したことがあるか。

3 改めてコミュニティ政策の点検を

福祉や住環境、防災、防犯など、地域力への政策的な要求はさらに高まっています。一方で、新たな宅地がどんどん広がり、また高齢化により住民のつながりが希薄になっている地域もあります。地域コミュニティ醸成のために、今改めてこれまでのコミュニティ政策を総合的に点検する必要はないでしょうか。

- (1) 町内会自治会連合会の地区連絡会のエリアごとに、それぞれ面積と人口、構成団体数はどうなっているか。
- (2) 地区連合会の適正規模について検討したことはあるか。
- (3) 地区連合会ごとにコミュニティの拠点となる施設はあるのか。
- (4) コミュニティ推進計画の必要性をどう考えるか。

質 問 10

質問者 11番 橋本和治

1 安心・安全のまちづくり

- (1) 宿泊型防災訓練の実施について
 - ①指定避難場所を使用して宿泊型防災訓練を実施する考えはないか
 - ②車中泊型防災訓練を実施する考えはないか

- (2) 在宅避難に係わる市民向け情報提供について
- (3) 災害時におけるドローンの活用について
- (4) 指導救命士の育成について
- (5) NET119の導入について
- (6) 通学路の防犯カメラ設置はいつか

2 オリンピック・パラリンピックの取り組み

- (1) ソフトボールの普及推進について
- (2) 共生社会ホストタウンについて
- (3) 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」について

3 クリーンエネルギー自動車（CEV）の普及推進について

- (1) クリーンエネルギー自動車を市の公用車に導入する考えはないか
- (2) 本庁・支所・出張所等の駐車場にEV・PHV用の充電施設を設置する考えはないか
- (3) クリーンエネルギー自動車普及のため、市独自の支援策を制定する考えはないか

4 生産性向上特別措置法（案）の成立に伴う本市の対応

- (1) 本市としてこの制度をどのように活用していく考えか
- (2) 今後の活用スケジュールを伺う

5 特別養護老人ホーム整備事業者公募要領（平成31年度新規整備）の改善点は何か（平成25年度新規整備と比較して）。

質 問 1 1

質問者 18番 板橋 睦

1 木下駅圏の活性化について

- (1) デキシー跡地について
 - ①現在の状況は
- (2) 旧印西消防署跡地について
 - ①今後の利用計画
- (3) 中央保健センターについて

- ①利用状況と課題
- (4) 旧印旛高校跡地について
 - ①利用状況と整備の進捗状況
- (5) 中央公民館について
 - ①利用状況と課題

2 学校適正規模・適正配置について

- (1) 大規模校の現状と対応
- (2) 小規模校の現状と対応
- (3) 旧永治小学校の跡地活用について

3 人口10万人突破記念事業について

- (1) 各予定事業の取り組み状況

4 スポーツ振興について

- (1) 女子ソフトボールカナダ代表チームの8月千葉県で開催される第16回世界女子ソフトボール選手権大会に向けた強化合宿について
- (2) 陸上アメリカチームの2020年東京オリンピックの合宿準備について

質 問 1 2

質問者 1 番 伊 藤 真 一

1 高齢者運転免許更新について

現在、全国で高齢者の運転する車の事故が多くなっている事は、重要な社会問題として認識されている事と思いますが、更新における不便な点と、運転免許を返却した場合に、市民から多くの要望が有りますので質問します。

- (1) 認知機能検査を受ける場所について自動車教習所ではなく、例えば健康診断の時に行くことは出来ないのかについて伺います。
- (2) 運転免許を自主返納された方に対する、市としてのその後の考えについて伺います。

2 信号機の設置と改善について

信号機の設置要望（市道竜腹寺線交差点）と改善（小林公民館信号の不感応）について、市民よりさまざまな要求がありますので質問します。

- (1) 課題をどの様に捉えているか伺います。
- (2) 未だに解決されない課題をどの様に解決する考えか、について伺います。

3 カーブミラーの改善について

現在設置されているカーブミラーについて、非常に見づらいとの指摘があり、改善要望があがっておりますので、質問します。

- (1) 市では見づらい箇所を把握されているのか伺います。
- (2) 今後、どの様な対応を考えているのか伺います。

質 問 1 3

質問者 4番 玉 木 実

- 1 資産経営課の現状と課題
- 2 コスモス・キッチンの現状と課題
- 3 印西市犯罪被害者等支援条例の現状と課題
- 4 成年後見制度の現状と課題
- 5 「主要農産物種子法」の廃止に伴う課題と問題点

質 問 1 4

質問者 16番 軍 司 俊 紀

1 地域包括ケアシステムについて

本年4月より第7期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画が始まったが、地域の支え合いの仕組みである「地域包括ケアシステム」を本市の地域特性に合わせてより充実・深化させていくために、以下を確認する。

- (1) 地域包括システムは医療抜きでは成り立たないと考えるが、「医療・介

護の連携等地域ネットワーク」は第7期では具体的にどのようにすすめていくつもりか。

- (2) 在宅医療に関する市民への情報提供は充分か。
- (3) 松戸市では4月から「在宅医療・介護連携支援センター」が開設されているが、印西市でも同様な施設整備が必要ではないか。(在宅医療・介護連携に関して、医療関係者の協力は十分に得られているのか。)
- (4) いつまでも元気に暮らすためには生活支援、介護予防といった面が必要だと考えるが、印西市では「介護支援ボランティア」登録が減っていると聞く。現状をどのように捉え、今後の方策をお聞きする。

2 待機（保留）児童対策について

認可保育園に入れない待機児童対策を推進する「子ども・子育て支援法」の改正案が国会で可決され、4月から施行されている。法では都道府県ごとの「対策協議会」の設置が盛り込まれ、市区町村をまたいだ認可園の利用などが協議される見通しと聞く。以下を確認する。

- (1) 「対策協議会」について県から具体的に話があったか。
- (2) 4/1現在、印西市では保留児童が135名いると聞くが、具体的な待機児童解消のための方策はあるのか。
 - ①待機児童(保留児童)になってしまった保護者のニーズ把握はできているのか。
 - ②「期間限定保育」について、印西市はどう考えるか。
 - ③10月に開園すると聞くNT中央駅南口の認可保育園の進捗はどうなっているのか。
 - ④「入れるかどうかわからない、来年4月に開園する3園を待てないし、今、困っている。」という声に対して、保育園に限らない待機児童対策は考えているのか。(保育ママ制度やベビーシッターなどはどのように考えるか。)
 - ⑤近隣自治体の待機児童対策から学ぶことはないか。

3 臨時職員及び非常勤職員の待遇改善について

- (1) 昨年5月に施行期日は平成32年4月1日とする「地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律」が公布されました。

この法の改正内容の一つとして、「一般職」の非常勤職員の任用等に関する制度の明確化が掲げられ、その中で、「会計年度任用職員」を創設することが記載されています。

法の施行に向けて、印西市ではどのような計画を立て、運用していくのだろうか。以下を確認する。

- ①「会計年度任用職員」制度導入までのスケジュール

②「会計年度任用職員」の採用方法や任期

③予想される財政負担

(2) 法の施行前に、以下の職種については、早急に処遇改善を図るべきだと考えるが、印西市ではどのように考えているのか。

①保育士・看護師

②英語教諭

4 空き家対策について

少子高齢化の進展等により、今後市内でも空き家は更に増加すると考えるが、市の取組みが進んでいないように感じている。

3月議会でも空き家対策について問うたが、改めて以下を確認する。

(1) 「空き家等に関するアンケート」の調査結果はどのようにまとまっているのか。また、空き家対策計画にどう反映させていくのか。

(2) 市内で空き家に認定されている戸数は389戸と聞くが、このうち所有者（または相続人）と連絡がつかない戸数はどれだけあるのか。

(3) 空き家所有者（または相続人）に市職員が直接会って除草等の管理責務を説得することも行っていくべきではないか。（具体的な行動はされているのか。）

(4) 空き家対策として、市役所内での連携はとれているのか。また、消防署や警察署との連携はどうか。

(5) 空き家対策協議会は今年度設置すると聞くが、進捗はどうなっているのか。また、条例も同時に制定されるのか。

5 生活環境の改善について

市内全域で同じような状況が見受けられるが、牧の原地区を例としてお聞きする。

(1) 落ち葉やごみがつまり、排水が充分にできず、雨が降ると歩道付近との境界で道路冠水している場所があるが、清掃は充分に行われているのか。

（例として、カスミフードスクエア西の原店北側）

(2) 横断歩道等の道路白線が消えて、交通安全上危ない場所が多数ある。子どもたちが日常使う場所は対処すべきかと思うが、対応できないものか。

（例：西の原中学校付近）

(3) 夏に向けて雑草が繁茂することが予想される。また、既に歩道が通りづらいという声が寄せられる。

草刈は充分か。また、それぞれの地域に依頼して対応可能か。例：国道464号西行き印西牧の原駅近隣

質 問 15

質問者 8番 岩 崎 成 子

1 市民が主体の地域コミュニティ活動の推進について

少子高齢化が急速に進行し、核家族世帯やひとり暮らし・高齢者のみの世帯の増加、価値観の多様化等がさらに進み、隣近所のつながりが希薄になるとともに、家族や地域で人と人との結びつきが弱くなっている現在、町内会、自治会等のコミュニティ組織の充実を図っていくことが重要と考えます。そこで伺います。

(1) 地域コミュニティ組織について

- ①組織の現況について
- ②組織への支援について
- ③組織の役割等についての市の認識について

(2) コミュニティの醸成事業について

- ①重点的に実施する事業について

(3) コミュニティ施設の活用促進について

- ①活動の拠点となるコミュニティセンター等の利用の推移について
- ②施設の維持管理について

2 通学路の安全対策について

児童・生徒の登下校時の安全対策は、喫緊の課題です。そこで伺います。

- (1) 不審者への対応について
- (2) 通学路の環境整備について
- (3) 危険箇所への対応について

3 豊かな心を育む教育の充実について

子ども達のすこやかな成長のためには、情操教育が重要です。そこで伺います。

- (1) 道徳教育の充実を進めて行くための施策について
- (2) 芸術文化体験事業の充実を進めて行くための施策について

質 問 16

質問者 2番 稲 葉 健

1 障がい者への就労支援について

- (1) 今後の特別支援学校等の進路先について
- (2) 印西市としての障がい者の雇用状況について
- (3) 印西市としてのチャレンジドオフィスの取組について

2 防犯カメラ設置について

- (1) 市内の防犯カメラの設置状況について
- (2) 町内会での防犯カメラの補助申請状況について
- (3) 最近是个々でも防犯カメラを設置する家が増えているが補助金の支給範囲を拡大できないか？

3 市有建築物の維持管理について

- (1) 印西市公共施設等総合管理計画に基づく今後の維持管理計画について
(公共施設)
 - ①イニシャルコストについて
 - ②ランニングコストについて
 - ③改修計画について
- (2) 将来的な見通しについて

4 安全な街づくりに向けて

- (1) 大型車両の通行禁止区分の徹底について
- (2) 市街地での自動車の速度制限について
 - ①市街地での速度制限30キロの徹底について
 - ②ゾーン30の取組について

5 高齢者の免許返納の取組について

- (1) 市としての取り組みについて

質 問 17

質問者 17番 金丸和史

1 イオン付近の時計設置に関すること

- (1) 印西市の名物となるような設置は考えられないか。
- (2) イルミネーションとマッチするような時計の設置は考えられないか。
- (3) 設置について小倉台小学校に通学している保護者からの要望があるが、考えられないのか。

2 旧優生保護法下での強制不妊手術に関すること。

- (1) 印西市での実態はどうか。
- (2) どのように印西市として考えているのか。

3 入札事業者の社会保険への加入に関すること。

- (1) 前回の質問から加入は進んでいるのか。
- (2) どのくらいの事業者が未加入なのか、実態を把握しているのか。
- (3) 今後の対応について、どのように考えているか。

4 自転車利用マナーと「印西市自転車安全・安心利用に関する条例」に関すること。

- (1) 自転車の利用マナーが悪化しているように感じるが、どのように対処するのか。
- (2) 放置自転車が増加していると思われるが、どのような状況なのか。
- (3) 「印西市自転車安全・安心利用に関する条例」の現状はどのように運用されているか。
- (4) (1)～(3)を踏まえて、条例改正の必要性はないか。

5 中学校の部活動に関すること。

- (1) スポーツ庁学校体育室から発表された運動部活動の在り方に関する総合的ガイドラインをどのように受け止めているのか。
- (2) 市内中学校での外部指導者の導入状況はどうか。
- (3) 教育委員会としては、今後の対応をどのように考えているのか。

6 「労働条件審査」に関すること

- (1) 進展がないように思えるが、どう考えているのか。
- (2) 白井市の状況は把握しているか。
- (3) 印西市として今後、どのように扱う意向なのか。

質 問 18

質問者 9番 海老原 作一

1 市民アカデミーについて

印西市教育振興基本計画における基本目標Ⅱにおいて、計画期間中の生涯学習に対する市民ニーズが高まることを予想し、生涯学習社会への期待にこたえるべく、市民アカデミーや出前講座等により、人材育成を図りながら学習成果が地域社会に活かせるよう、生涯学習の体制づくりを推進することが求められているとしています。そのようなことから多様な学習機会を提供する事業の一つである市民アカデミーについて以下のように質問いたします。

- (1) 市民アカデミーの入学者数はどのように推移しているか。
- (2) 市民アカデミー事業の評価・課題についてどう考えているか。
- (3) 市民アカデミーの充実を計画の主な事業に挙げているが具体的にどのようなことか。
- (4) 学習計画の充実・運営を市民アカデミープロジェクトチームが行うとしているがどのようなことを考えているのか。

2 いこいの湯の運営について

いこいの湯は、平成26年3月に閉鎖されましたが、板倉市長になり平成28年10月にきれいに改修され再開されました。いこいの湯閉鎖後の印西市総合福祉センターの利用者は激減し、非常に残念な状況にあったことが記憶に残っています。きれいに改修されたいこいの湯が再開されたのちの状況を確認しながら、利用者により良い温浴施設として運営していくことが求められているとの考えから質問いたします。

- (1) いこいの湯の再開後総合福祉センターの利用状況はどうか。
- (2) いこいの湯の利用状況はどうか。
- (3) 受益者負担を求めているが、その利用料集金にかかる経費はどうか。
- (4) 利用料集金方法を見直して経費削減し、利用者に還元してはどうか。